

繋げますっ! 大和魂

親族がお亡くなりになり、家を相続され、その家から古美術品が出てきたそうです。
大切に頂ける方にお譲りしたいと、買取りのご依頼を受け某お屋敷に行ってきました!



1 なんと!!
敷地の中に神社が!!



2 神社の真横に蔵が!!



3 扉を開けると...



4 長い間、眠っていたお宝が!!



お宝の中に、蜻蛉蒔絵五枚胴具足がありました。
大切に持ち帰り、具足を組立ててみると...
どしっ!と迫力があり、蜻蛉蒔絵も細かく表現され品の良さも感じました。
そして、保存状態の良さから先祖代々、とても大切に保管されていたのだと感動するとともに、ご先祖様を大切に想う気持ちが、具足から伝わってきました。
この想いを繋げ、届けるのが私達の仕事だと改めて感じました。



こちらの具足を綺麗に飾り、大切に下さる方、写真を送りますので中掘までご連絡下さい!!

★★★★★★ 連絡先 ★★★★★★
mail:sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp
TEL.0848-29-3936 ご連絡お待ちしております。
FAX.0848-29-3937

海外にお侍さん発見っ!!

Y様より

コメント

Dear Takako Shimatani
Thank you for sending newsletter.
ニュースレターを送ってくれてありがとう。
I read your newsletter.
読んだよ。
I have also samurai gym. Arigato
私は、侍ジムも持っています。ありがとう。

と返信を頂きました。Y様は、なっ!なんと!!ロシア在住!!
家の中に、ジムではなく、「侍ジム!!」を作ったそうです!
こちらの「侍ジム」では、空手をされている息子さんとも、練習に励んでいるそうですよ。
これからも、お体に気を付けて、しっかり鍛えていって下さい。



また、Y様の練習風景の写真、お待ちしております。Y様、ありがとうございます。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください お待ちしております

最新情報は
こちらから

ホームページ <http://daimyou.com/>

有限会社

大名

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937



件名:ニュースレター返信
と入力して送信して下さい。

届けますっ! 大和魂 2016年8月 Vol.13

—経営理念—

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に
日本の歴史、古美術を発信し
貴方(お客様)の趣味を応援する
タイムマシーン企業を目指します

- 目次—
- 1 念願のキス釣りへ
〜中堀(なかぼり)〜
 - 2 語ります大和魂
〜島谷(しまたに)〜
 - 3 ハナエモンのタ〜イムスリップ
〜花本(はなもと)〜
 - 4 繋げますっ! 大和魂
〜中堀(なかぼり)〜
 - 5 海外にお侍さん発見っ!
【第二弾】
〜島谷(しまたに)〜

〜念願のキス釣りへ〜

毎年恒例の遊漁船! これまでは社長が夏まで待てず、メバル釣りばかりでしたが...
やっと今年はキス釣りに行きました。会社が今年で13年目なので、13匹目を釣った人に、ハナエモン賞を頂けるとの事!! これは絶対に、何が何でも13匹目を狙って釣らなくては!!



場所取り争奪戦

やったぜ〜☆



開始すく「捕ったどー————っ!!」と島谷の声が! するとその後すく、私の釣竿にもツンツンと当たりの感触が... 釣り上げた瞬間、思わず私も「捕ったどー————っ!!」と叫んでしまいました。それから次々に、私と島谷に当たりがきました。そんな私達を見て悔しがっている社長(笑)
社長:「おかしー!! 絶対、場所がいけんのよ〜! ちょっと場所変わって」と私の場所を奪った瞬間、社長に当たりが...
←「ほら〜やっぱり場所よ〜」とご満悦(笑)その後、社長の勢いが止まりません。
釣れる...そして釣れる... じゃんじゃん釣ってるっ!!
中堀 心の叫び(やっぱり場所なのか————っ?!) 天に味方された社長は結果、13匹目も釣り上げました。私を見て「ハナエモン賞、捕ったどー————っ!!」と言って喜んでいたので、「いや〜さすが社長ですねえ!! もってる男は違いますね〜」と、小さな嫌味を言ってやりました(笑)
めっちゃ悔しい〜!!

船長の想い

お昼ご飯に船長が漁師飯を作ってくれました。
鮮度抜群の料理はとっても美味しく、潮風を浴びながら食べるご飯は本当に贅沢でした。味噌汁もありましたが、美味しすぎて手が止まらず、写真を撮るのを忘れてしまいました(汗)
嬉しそうに食べている私達の姿を見て、船長が「ワシは、魚が釣れんと楽しくない奴はのっけんのよ! 漁師 じゃないんじゃけ(笑)遊漁船じゃけえ釣れんでも遊んで、楽しんで帰ってほしいんよ! 楽しんでくれとる 姿みたら、ワシも楽しいけえの〜」と熱い想いを聞かせてくれました。そういえば... 最初にメバルを釣りに行った時、あまり釣れてない私達をみて、DASH島へ連れて行ってくれた事を思い出しました。→さりげない心遣いが嬉しかったです。
あの時から「お客様を楽しませたい」という真っ直ぐな想いを持っている、船長のファンになりました! 私も、お客様を楽しませるよう、日々笑進(精進)して行きたいと思いました。来年こそは、絶対にハナエモン賞を捕るぞー!!(笑)



脂が乗ったカンパチの御造り



どんな味になるのかな〜?? 鯛飯



DASH島



爆釣の船内で... はしゃぐ島谷

を横目に、遊び疲れて眠る私と社長(笑)



こんなにキスが釣れました!!

今回もお世話になった
和丸観光さん

和丸観光遊漁船
事務所 0848-23-4128

広島県尾道市正徳町 25-1 吉和活魚センター内
TEL.0848-23-4128
<http://kazumarukankou.com/>

船長の島谷さん→



大和魂

語り
ます

ECO 人間

こんにちは、島谷貴子です。
暑中お見舞い申し上げます。皆さま、暑い夏をいかがお過ごしでしょうか？
私は毎日クーラーで、ガンガンに冷やした部屋で、過ごしています。
今から、400年以上も前の江戸時代では、どうやって暑さをしのいでいたのでしょうか？

暑さ対策① あったかいご飯は…

日の出時刻より30分前のことを「明け六つ」と言い、うす暗いこの時間から、朝食の準備が始まります。米を炊くのは朝の1回だけで、温かいご飯を食べるのは朝食のみでした。
私は、少し寂しい気もしますが…今と違って、煙を上げて熱を放出する竈の側で、火の面倒を見るのはとても大変な作業で、日が高く、暑くなる前に済ませるのは、当然のことだったのでしょう。

暑さ対策④ 江戸の風物詩…

帰宅後、外で桶に水を張り、行水をしていました。外で、冷たい水で体を洗う。今でいう、水風呂ですね。家の前に桶を並べて、行水している姿は、江戸の風物詩だったそうです。
私は、温かいお風呂にゆっくり浸かりたいなと思いますが、当時は頻繁に火事が起こっていた為、家でのお風呂を、禁止されていたそうです。



暑さ対策② だんだん明るくなり…

朝の「打ち水」をし、風通しを良くするため「簾」・「蚊帳」をし窓を全開にしていました。



暑さ対策⑤ 自然のBGM…

暑い部屋から外に出て、夕涼みに聞いていたのは、「蝉」や、「鈴虫」の声。そして、風がふくと、涼しげな音を響かせる「風鈴」。
中国で生まれた「風鈴」は、音色を聞くためのものではありませんでした。形も、ガラス製ではなく、竹林に玉片をつるし、風の向き、音の鳴り方で物事の吉凶を占うものだったようです。それが仏教と共に日本に伝わり、「魔除け」として使われるようになりました。
ガラス製になったのは1700年代で、さらに庶民が軒下に吊るし、手軽に楽しめるようになったのは、幕末になってからだそうです。
ちなみに、初めて作られたガラス製の「風鈴」のお値段は…一個、300万円位(今のお金)だそうです！
そして、名前も最初は「風琴」と呼ばれていたそうです。



暑さ対策③ 熱中症対策…

日の入の時刻までに、仕事を終え、茶屋で一杯。仕事の帰りに「ビール」ではなく、「甘酒」・「飴湯」・「麦湯(あったかい麦茶)」を飲んでから、帰宅していたそうです。氷がとても高価な時代だった為、冷ますこともなく、出来たてのあったかい飲み物を飲んでいました。暑い感じはしますが、暑いときに熱いものを飲むことで、不思議と暑さがスッと、消えていったそうです。
その為、夏には冷たい飲み物よりも、「甘酒」・「飴湯」が人気でした。夏に内臓を冷やすと良くないことや、「塩分」「糖分」も忘れずに、摂取することが大事だということも、当時から分かっていたことなんだと改めて、知りました。



暑さ対策⑥ 日の入りが近づいてくると…

夕食後、隣近所の人達と、家の前に「打ち水」をし、椅子を並べ、談話をしながら、夕涼みをしていたそうです。
団扇を仰ぎながら、涼むなんて、ゆっくりと時間が流れていったのでしょうか。

今回は、いつもと違った視点で江戸時代にタイムスリップして語りさせていただきましたが、いかがでしたでしょうか？
当時の平均気温は、今より5度低かったのですが、それでも暑さの感じ方は変わらないと思います。
暑さ対策がしっかりされていて、改めて昔の人のすごさを感じました。冷たい風や、冷たい食べ物だけではなく、音でも夏を楽しむ、というところもすごいと思いました。そして、何より、一日の流れがしっかりとっていて、時間の使い方が、とってもエコだと思いました。私も、今年の夏、江戸時代に夕～イムスリップし、エコ人間になってみたいと思います。
結果は、ニュースレターで報告させていただきます。次号も、お楽しみに～



ハナエモンの夕～イムスリップ

こんにちは、夏真っ盛りですね～。いかがお過ごしでしょうか？
暑い季節に熱い漢に夕～イムスリップッ！
僕にとって「熱い漢」で思い浮かぶのは、吉田松陰先生(1830～1859)。



吉田松陰編

松本村の天才

1830年、長州萩城下松本村(山口県萩市)で長州藩士・杉百合之助の次男として生まれました。その後、叔父の吉田大助(長州藩の兵学師範)の養子になりましたが、大助が急死し、6歳で家督を継ぐことに。同じく叔父の玉木文之進の厳しい教育もあり、11歳で藩主の前で講義を行い、松本村に天才ありと知れ渡ったそうです。



松陰を教えた文之進はほかにも…親戚の陸軍大将・乃木希典にも教育しています。



日露戦争で大活躍し「乃木大将、將軍」と呼ばれた

究極の勉強家&実践家

清(中国とモンゴルを支配した国)が欧米に侵略されると知ると、日本の学問だけでは日本を守れないと感じ、西洋について学ぶため、九州、江戸に勉強に行きます。
東北にも勉強に行こうとし、仲間との約束日を守るために、藩からの通行手形が来るのを待たずに出発！

脱藩(だつぱん)といって、大罪です。家来が殿様を見限って国を捨てることなので…
学びたい！約束守りたい！国を守りたい！の気持ちが熱すぎて。



さらに外国に留学の方が早いと、ロシア軍艦に乗り込もうとするも失敗。
アメリカ軍艦に乗り込むことには成功するも、拒まれ、失敗…。

ペリー来航のペリー提督の航海記にも、「厳しい法律を犯してまで、知識を得ようとした、知識欲、好奇心。日本人のこの特質がこの国の未来に夢、希望で満ちていることを表している」と残っています。



どこまでも熱く、真っすぐ

幕府が無勅許(天皇陛下の許可なく)で条約を締結したことに激怒し、要職者の暗殺を計画するが、実行は出来なかった。幕政を批判し、逮捕された梅田雲浜との関係について、取り調べをうけることに。
そこで聞かれてもいない暗殺計画について語り、投獄され、29歳で斬首刑に処されました。



なぜ、暗殺計画まで語ったのかというと、幕府の要人に幕政について、直接意見が出来るチャンスだと思ったからと言われています。
松陰の有名な言葉に「至誠にして動かざる者は未だこれ有らざるなり」
意味:誠の心をもって尽くせば、動かなかった人など今まで誰もいない
この言葉通りに、心を尽くして話せば、理解してもらえらると思ったのでしょう。
もっと違うやり方があったかもしれませんが、結果、松陰の死が弟子たちの覚悟に繋がり、8年後の1867年に幕府は崩壊し、1868年から明治時代に突入していきます。

弟子の久坂玄瑞に関して、こんなエピソードが残っています。
明治維新に導いたとして評価されている、維新3傑の一人・西郷隆盛が「わたしに、少しばかりの功があるといわれるが、久坂玄瑞、その他先輩諸侯が存命なれば、わたしなんか末席にも座れない。」
弟子にも劣ると言った西郷隆盛。
吉田松陰がいなければ、江戸幕府崩壊もなく、日本の近代化が進まなかったかもしれませんね。

